

を紹介!

経済



札幌の企業と道内各地の事業者などをつなぎ、新たな魅力づくりを支援

市は、道内の生産者と札幌の食品加工業者などが行う新たな商品作りを支えるために、費用の一部を助成しています。ほかにも、札幌の卸売業者と道内の製造業者を結び付けるため、平成25年に帯広・旭川市で商談会を初開催しました。

防災



平成25年の市総合防災訓練では、江別・北広島市の消防と水道部の職員が参加

市の垣根を越えて
災害に備える体制をつくる

市が行う総合防災訓練では、近隣の江別・北広島市などにも参加を呼び掛け、災害時の連携体制を確認しています。また平成25年には、厚別区と江別市の町内会が初の合同避難訓練を実施しました。

札幌と道内の市町村をつなぐ

道内連携

市では、道内の市町村とのつながりを深めて、一緒に北海道をもっと元気にしていくため「道内連携」の取り組みを積極的に行っています。

【詳細】 政策企画部企画課 ☎(21)2192

札幌が道内連携に取り組む理由

食や自然、美しい街並みなど、たくさんの魅力があふれる北海道。その恵みを受けて道内各地で生産された物が集まり、産業や観光などの拠点となったことで、札幌は北海道の中心都市へと発展してきました。

しかし今後、北海道、そして札幌の人口減少が進み、経済基盤が弱まることが心配されています。そうした中でも、札幌・北海道が輝き続けるためには、多くの魅力を持つ道内の市町村との連携が欠かせません。

札幌は流通や集客力などの都市機能が充実しています。それを道内の市町村にもっと活用してもらい、一緒に北海道の魅力を高めていくことが、道都・札幌の役割と考え、道内連携に力を入れて取り組んでいます。

北海道さっぽろ「食と観光」情報館・キタベル

道内全域のイベント情報や観光パンフレットが充実しており、観光案内スタッフも常駐しています。各地の特産品約2,000種類の販売もあり、札幌にしながら全道各地の魅力に触れられます。

開館時間 8時30分～20時。無休
所在地 JR札幌駅西コンコース北口
詳細 観光案内所 ☎213-5088



道内の市町村と共に

北海道を元気にする取り組み

食と観光

道内の市町村が持つ魅力を感じてもらい、全道各地を巡るきっかけに!

おいしい食材や雄大な自然などの北海道の強みを生かし、人やモノの交流が活発になるように、さまざまな取り組みを行っています。



実は

道内観光は道民が支えている!?

北海道の観光客の8割、札幌の観光客の6割が道民です。道内に住む人たちが互いのまちを歩き来して、北海道の観光を盛り上げています。

■平成24年度 北海道・札幌市観光入込客数調査

	観光客数	道内客	道外客
北海道	5,098	4,475	623
札幌	1,304	874	430

(単位:万人)



北海道の食が札幌に集結



平成25年のオータムフェストには過去最高の約165万人が来場し、道産食材を使った料理を堪能しました

全道各地の食を身近に感じてもらおう催しとして、平成20年から「オータムフェスト」を開催。同年にオープンした道内の食材が集まる店「道産食彩HUG」と共に、多くの市民や観光客に食の魅力を広めています。



道内各都市と共同で周遊観光をPR

函館・旭川市などの5都市や札幌近郊の市町村を巡ってスタンプを集める催しを、毎年4月から12月にかけて実施。多くの人に道内各地を周遊してもらい、北海道を盛り上げていくために取り組んでいます。



函館市「金森赤レンガ倉庫」



旭川市「旭山動物園」

みんなで札幌・北海道を元気にしよう!

市は「北海道の発展なくして、札幌の発展はない」との考えのもと、市民、企業、道内の市町村と共に、さまざまな分野で北海道を元気にする取り組みを進めていきます。将来も魅力あふれる札幌・北海道であるために、みんなで盛り上げていきましょう。

2月号から新コーナーが登場します

市内の施設などを紹介する「おでかけガイド(今月号は22号)」が、道内に14ある総合振興局・振興局ごとのおでかけ情報を紹介するコーナーに変わります。お楽しみに!

北海道の食・観光・イベント情報に触れられる施設を紹介!

道産食彩HUG

道内各地の生産者から直接仕入れた農畜産物や魚介類、加工品を販売。併設する飲食店では道産食材を使った料理が楽しめます。

開館時間 10時～19時。飲食店は店舗により異なります。無休
所在地 中央区南2西5(狸小路5丁目)
詳細 狸小路道産食彩協議会

☎242-8989